

山麓探偵団通信

H28,9月号

台風が多い夏でしたが、団員みなさまの地域では、いかが対処されたでしょうか？

企画募集した九月一〇日から十一日の一泊山麓探偵団は、天気予報を覆して好天に恵まれたため、さらに実のある活動ができました。

事前に、戸高団長より、今年特に全国的に多発している熊との遭遇の対処について、単なる方法論ではなく、互いに生き物同士の「生きたい」というエネルギーのぶつかり合いを確認したうえで行動する方法を、レクチャーしていただき、ひとりひとり自らの「生きる」意志を確認して出発。

総勢9名は、西丹沢の大棚の滝付近の沢登り、滝浴び、そして火を炊く夕べを過ごし、翌朝は高指山に登り、無事に帰着しました。

■戸高雅史団長の講評

同じコースでも、沢への取り組み方が異なると、様々な可能性が広がるのだと知った。人間のもつエネルギーだけで山に入るのでは

なく、周囲の自然の営みを受信しつつ、気配を感じながら、峠を越えていく過程を体験できたと思う。



◆参加者の感想

S・初参加ですが、安心感のある期待があり、じっさいは、みんなに助けてもらって素晴らしい気づきがありました。

M・二度目の参加です。帰り道、水の中を歩く時間がすてきで、

皆それぞれが自分の思いと本能に従って、自分にふさわしい道を選んでいくのだと感じました。

K・日々の暮らしの生きづらさから、リラククスは必要で、〈今を生きる〉ことをヒントに、〈次に、どうしようか〉と考え、歩きました。

H・事前に昨年の写真を見てワクワクしていましたが、実際に行ってみて、期待以上の素晴らしさに浸りました。たき火を囲む参加者が、周囲の景観に溶け込むのを見て、ときめきを感じる自分を知りました。滝や沢歩きで水の中に立ち、不安だった冷たさを思いがけず越えられ、ありがたかったです。

H・昨年からずっとかかえていた人生の宿題について、見直すことができました。滝浴びは、冷たくありませんでした。

T・毎回異なった良さを感じます。まさに動的メディアーションを実感しました。沢シューズの履き心地がよかったです。

J・偶然に出会った〈タマガタケ〉に象徴される、生まれ変わりが実感できたように思います。同じ場所でもコースを変えることで、新鮮な体験ができるものです。

第244回「探偵団活動」案内



〈秋の虫観察〉

昆虫がご専門で、埼玉大学を定年退官された林正美先生を団長にお願いして、山中湖近隣で秋の虫を観察します。

・日時 十月十三日(木)

・集合 午前9時半 p・まりも

・持ち物 昼食・雨具・マイカッ

プ、敷物・任意で昆虫採集ビ

ニール袋など、

*お問合せ申し込みは、3日前まで左記にメールかお電話でお願いします。

尚、年内最後の活動は、伊藤浩美団長で、十一月十七日(木)の予定です。

発行 山麓探偵団 事務局

山梨県山中湖村平野一六九八

電話 〇五五五・六五・七〇二三